



【読書】キャラクター「おっほん」

【10/1 ~ 2/26】

札幌市立真栄中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

さっぽろっ子読書ウィーク&秋の読書イベント

2学期から長期的に行う企画の発案は局員で、意見のまとめや企画のアドバイスを司書教諭と学校司書が行い進めました。

図書局員をA、BとC、Dの4グループに分け、イベント内容をグループで討議し、3つの企画を実施しました。

企画①「秋を感じる展示」(A、Bグループ)

本を1人4冊選び、前期後期に2冊ずつPOPを作成し、本のレイアウトを工夫しながら展示しました。

企画②「朝読書などによく読む本を学年の先生に聞いてみた」(C、Dグループ)

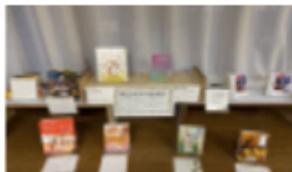
2、3学年の先生方から日頃よく読む本を紹介していただき、展示しました。

どの本が、どの先生が紹介した本なのかを当てるクイズをしました。

企画③「図書局員のリクエスト本に投票しよう」(C、Dグループ)

図書局員がリクエストした本から1冊選んでもらい、得票数の多い本を新刊で購入しました。

イベント参加者にスタンプシートを渡し、完遂した生徒は一足早く長期貸出ができるように設定しました。非常に楽しい企画が生まれたと感じる秋でした。



学習センターとしての機能

キミの知らない「アイヌ文化」の世界へ

私たちが暮らすこの北の大地には、アイヌの人々の豊かな文化が息づいています。今回の展示では、伝統的な神話や伝統、現代のアイヌの人々が行っている活動まで、幅広く知ることができる資料(図書)を集めました。

また新聞記事を切り取ってまとめた「スクラップブックファイル」には、教科書だけでは見えてこない現実的な社会の動きがわかります。

さらに、アイヌ文化に関する専門的な内容をわかりやすく、9つの分野に分かれて学習できる小冊子を展示しています。これらの小冊子は、北海道博物館から無料で配布されていて、持ち帰りも可能です。

その他に、北海道にあるアイヌ施設のパフレットやリーフレットを用意しています。

私たちの住む場所の歴史を知る、良い機会となる展示を行っています。



情報センターとしての機能

図書館オリエンテーションと長期貸出

年度当初にできなかった図書館オリエンテーションを、2学期に特別支援学級の生徒の皆さんと行いました。

内容は、館内にある書棚の配置と本の並べ方の「分類法」について、司書から説明を行いました。

次に図書館の使い方とマナーについて、4問のクイズを出題しました。事前に作成した〇×スティックを使い、どちらが正解か盛り上がり、楽しく学んでいました。

特別支援学級の先生方の御協力によって、2時間連続で図書館オリエンテーションを行い、長期貸出もできて、充実したオリエンテーションとなりました。

